

故瀧川好美氏が洲本市名誉市民に



前・淡路信用金庫会長で、本年1月7日に80歳で亡くなられた瀧川好美氏に、名誉市民の称号を贈ることが決まりました。

6月定例議会で同意されたもので、淡路信用金庫創業者の瀧川福市氏に続き、11人目の名誉市民となります。

瀧川好美氏は、昭和11年7月24日に洲本市で生を受け、昭和30年3月に淡路信用金庫に入庫。平成5年から20年間に及ぶ理事長時代には、阪神・淡路大震災、明石海峡大橋開通、平成16年の台風23号など、地元経済に多大な影響を及ぼす出来事が起こる中、「地域経済の発展と顧客の繁栄に尽力する」という基本方針のもと、地元企業の経営安定に力を注がれました。2つの大災害に際しては、災害義援金などの

寄付を通じ行政を支援するとともに事業者向け特別融資を実施するなど、地域の復旧・復興に大きく寄与されました。

また、洲本商工会議所においても会頭などの要職に就かれ、地元商工業の振興に貢献。平成20年からは(財)淡路21世紀協会(現・(一財)淡路島くろみ協会)理事長として、行政機関とともに花みどりフェアなどさまざまな事業を通して島内の活性化に取り組みされました。

公共の福祉の面においても、洲本防犯協会理事として、犯罪の防止と防犯思想の普及啓発に精励。その他、多くの文化、スポーツ振興事業に関与されるとともに、さまざまな団体に要職に就かれ、その職責を果たされました。

氏は、中小企業金融功労により、平成12年には黄綬褒章を、平成18年には旭日双光章を受章されています。

市では、故人への感謝の意を表し、功績と栄誉をたたえるために、洲本市名誉市民の称号を贈ることとしました。

三 木田大池で 太陽光発電施設起工式

中川原町三木田の三木田大池に太陽光パネルを浮かべる発電施設「龍谷フロンソーラーパーク洲本」の起工式が、7月3日(月)に行われました。



この事業は、市と龍谷大学、金融機関、PS洲本株式会社が連携して実施。売電の利益は、本市の地域活性化に活用されます。

加茂小学校で

交通安全教室



6月14日(水)、市立加茂小学校で交通安全教室が開かれ、同小5、6年生の児童68人が参加しました。

この日、児童らは自転車に乗り、警察官や洲本交通安全協会、洲本乗方や交通ルールを教わりました。

大 浜海水浴場で海開き & 水難救助訓練

7月1日(土)、島内のトップを切って、大浜海水浴場が海開きました。晴天の下、(二社)淡路島観光協会の榎本文昭会長はじめ関係者が海の安全を祈願。その後、洲本消防署、洲本警察署、神戸海上保安部、警察本部機動隊、日本水難救済会、洲本市が連携し、水難救助訓練が行われました。



市内小中学校に

「淡路島たまねぎ」

7月4日(火)、淡路日の出農業協同組合から、食育に役立ててほしいと、全小中学校の給食一日分にあたる洲本産のたまねぎ264キロを寄贈いただきました。



同組合から、タマネギを寄贈いただくのは3回目、子どもたちは給食のカレーの具材として、地元ブランドを味わいます。